



政府統計

報道関係者 各位

平成30年12月26日

【照会先】

政策統括官付参事官付雇用・賃金福祉統計室

統計管理官 野地 祐二

室長補佐 野々部 恵美子

雇用第一係

(代表電話) 03-5253-1111 (内線 7616)

(直通電話) 03-3595-3145

平成30年上半期「雇用動向調査」の結果を公表します

～入職率9.2%、離職率8.6%で、7年連続の入職超過～

厚生労働省では、このほど、平成30年上半期「雇用動向調査」の結果を取りまとめましたので、公表します。

「雇用動向調査」は、全国の主要産業に属する5人以上の常用労働者を雇用する事業所における入職者数・離職者数、入職者・離職者の性・年齢階級、離職理由等の状況を明らかにすることを目的に、上半期と下半期の年2回実施しており、上半期調査は1月から6月までの状況について6～8月に調査を行っています。

今回の調査は、15,431事業所を抽出して行い、8,325事業所から有効回答を得ました。なお、回答を得た事業所の入職者37,841人、離職者45,904人についても集計しています。

【調査結果のポイント】

1 入職及び離職の状況

平成30年上半期の入職者数は4,574.1千人、離職者数は4,317.9千人で、差引256.2千人の入職超過であった。前年同期に比べ、入職者は171.6千人減少、離職者は126.2千人増加した。

年初の常用労働者数に対する割合である入職率、離職率はそれぞれ9.2%、8.6%で0.6ポイントの入職超過であった。前年同期に比べ、入職率は0.4ポイント低下、離職率は0.1ポイント上昇した。

【6ページ表1、7ページ図1-1、図1-2】

2 職歴別入職者数

入職者数を職歴別にみると、転職入職者数は2,689.9千人、未就業入職者数は1,884.2千人で、前年同期に比べ、転職入職者数は125.8千人減少、未就業入職者数も45.8千人減少した。未就業入職者数のうち新規学卒者数[※]は1,042.3千人であった。

【10ページ表3、11ページ表4】

※ 進学した者であっても学業とは別に常用労働者として働いている場合を含む。

3 転職入職者の賃金変動状況

転職した後の賃金が前職に比べ「増加」した割合は36.9%、「減少」した割合は35.1%で前年に引き続き「増加」が「減少」を上回った。

【15ページ表7】

4 未充足求人数

平成30年6月末日現在の未充足求人数は1,357.5千人、うちパートタイム労働者分が578.0千人で、それぞれ前年同時点より149.7千人、97.6千人増加した。

常用労働者数に対する割合である欠員率は2.7%で前年同時点と比べて0.3ポイント上昇した。パートタイム労働者に限ると4.4%で前年同時点に比べて0.4ポイント上昇した。

【17ページ図6、表8、18ページ表9】

調査結果の詳細は、別添概況をご覧ください。